

海岸構造物(防潮堤)敷設(嵩上げ)に関連した情報提供

海有り県には、「海岸保全基本計画」が策定されています。東日本大震災を受け、その計画変更が議論され、早いところでは変更された計画に基づいて、事業が進められようとしています。

すでに、日本水産学会(水産環境保全委員会)は、日本生態学会、植生学会と共同で、防潮堤の建設や復興工事にあたっては、生態系や生物多様性にも配慮することと、そのために学会として様々な面で協力する旨の要望書を、平成24年10月26日付けで、岩手県、宮城県、福島県の各知事に提出してあります。

(<http://www.miyagi.kopas.co.jp/JSFS/COM/jsfs4.html#12>)

この事業は、今後想定される大きな地震・津波に対応した防潮堤の嵩上げが中心ですが、嵩上げは敷設域の拡張＝沿岸域の改変を伴います。沿岸域の海岸がどの様に変えられようとしているのか、震災復興に関連した情報提供＝東日本大震災関連の防災事業:防潮堤敷設(嵩上げ)に関する情報提供を、「東日本大震災 に関するお知らせ」欄の「東日本大震災関連(支援情報)」に掲載しました。

砂浜や岩礁など沿岸域の調査や研究に係わっておられる会員諸氏は、関係する海域がどの様になるか、是非一度ご覧ください。

▽▽海岸構造物(防潮堤)敷設(嵩上げ)に関連した情報提供▽▽

http://www.miyagi.kopas.co.jp/JSFS/SHINSAI/info_shinsai-kanren.html

企画広報委員会 担当